

東北地方 1か月予報

(3月4日から4月3日までの天候見通し)

平成18年3月3日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

東北地方では積雪が平年を大きく上回っている所もありますので、融雪災害やなだれ等に注意してください。

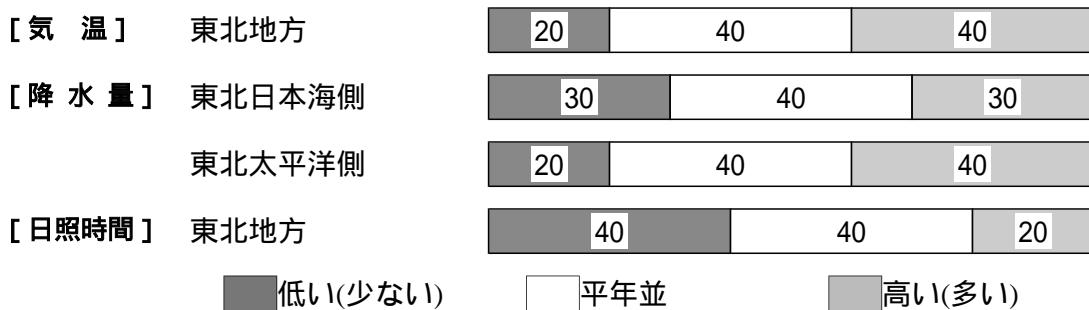
<予想される向こう1か月の天候>

この期間、気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時的に寒気の影響を受けるでしょう。東北地方は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

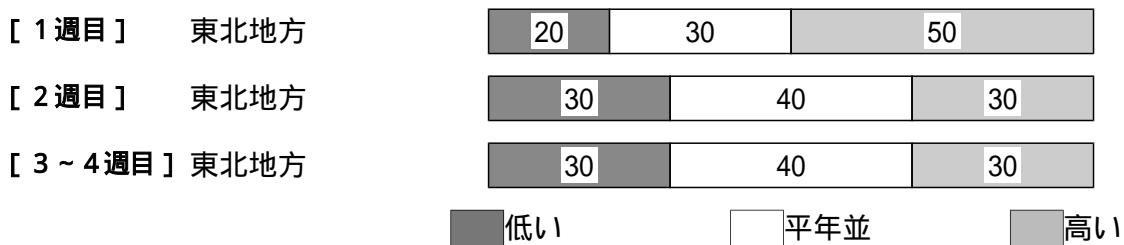
向こう1か月の平均気温は東北地方で平年並か高い、降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並が多い、日照時間は東北地方で平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は高い、2週目は平年並、3~4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月	:	3月 4日(土) ~ 4月 3日(月)
1週目	:	3月 4日(土) ~ 3月 10日(金)
2週目	:	3月 11日(土) ~ 3月 17日(金)
3~4週目	:	3月 18日(土) ~ 3月 31日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月10日
3か月予報：3月23日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	3.9	99.1	171.2	2.3	3.1	4.6
新庄	2.4	109.5	122.2	0.8	1.6	3.1
若松	3.5	64.3	144.7	1.5	2.5	4.4
深浦	3.1	80.6	128.0	1.4	2.2	3.9
青森	2.5	67.6	149.1	0.7	1.6	3.3
むつ	1.9	76.0	159.4	0.1	1.0	2.7
八戸	2.8	51.3	177.3	0.9	1.8	3.6
秋田	3.7	95.0	142.6	1.9	2.8	4.5
盛岡	2.4	81.9	169.1	0.4	1.4	3.2
宮古	3.5	90.5	185.2	1.8	2.6	4.2
酒田	4.7	102.2	133.4	3.0	3.8	5.4
山形	3.6	66.2	151.3	1.7	2.7	4.4
仙台	4.9	76.5	185.0	3.4	4.1	5.6
石巻	4.2	73.2	191.4	2.6	3.4	4.9
福島	5.4	77.9	181.1	3.6	4.5	6.1
白河	4.1	75.9	183.4	2.3	3.2	4.8
小名浜	6.6	111.0	188.4	5.2	5.9	7.1

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3 ~ +0.4	85 ~ 113	95 ~ 107
東北日本海側	-0.3 ~ +0.3	88 ~ 108	93 ~ 106
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.4	81 ~ 119	96 ~ 107

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6	-0.4 ~ +0.5
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6	-0.4 ~ +0.5
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.6	-0.3 ~ +0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成18年3月3日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月4日~4月3日):

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時的に寒気の影響を受けるでしょう。東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(3月4日~3月10日):

東北日本海側は、気圧の谷や寒気の影響で曇る日が多く、期間のはじめと終わりは雨や雪の日があるでしょう。東北太平洋側は、高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間のはじめと終わりは気圧の谷の影響で雨や雪の日がある見込みです。

平均気温は高いでしょう。

2週目(3月11日~3月17日):

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時的に寒気の影響を受けるでしょう。東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(3月18日~3月31日):

天気は数日の周期で変化するでしょう。東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

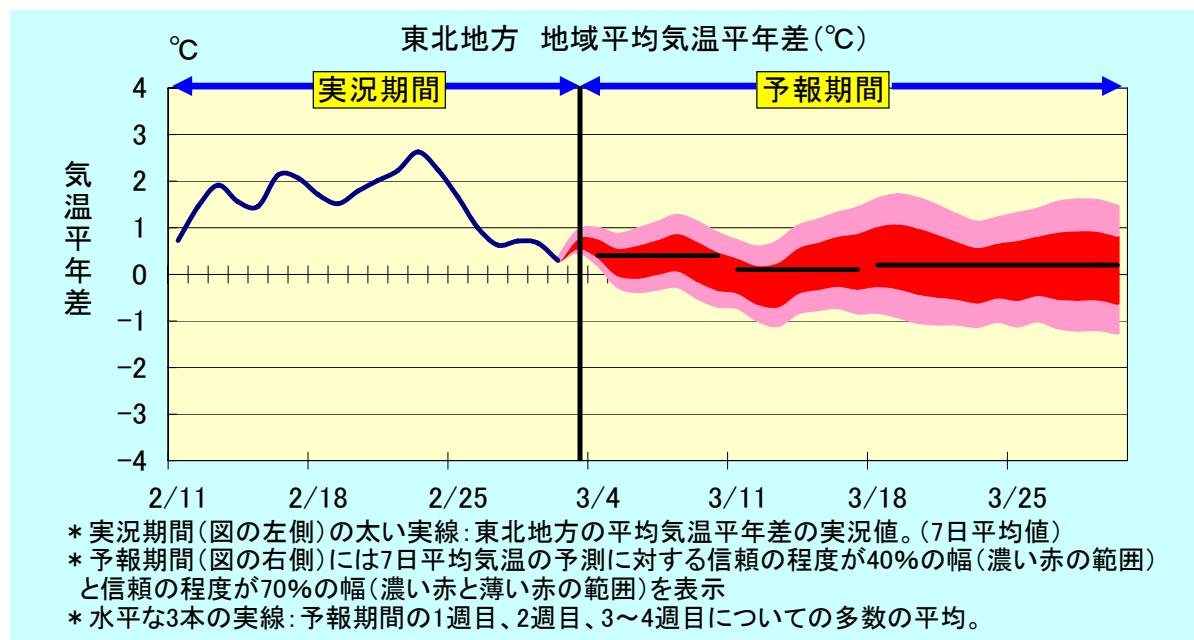
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	12.3日	2.6日	2.9日	6.8日
東北太平洋側	17.9日	4.5日	4.6日	8.8日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに「平年並」と予測している。予報は、週間資料などから1週目を「高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

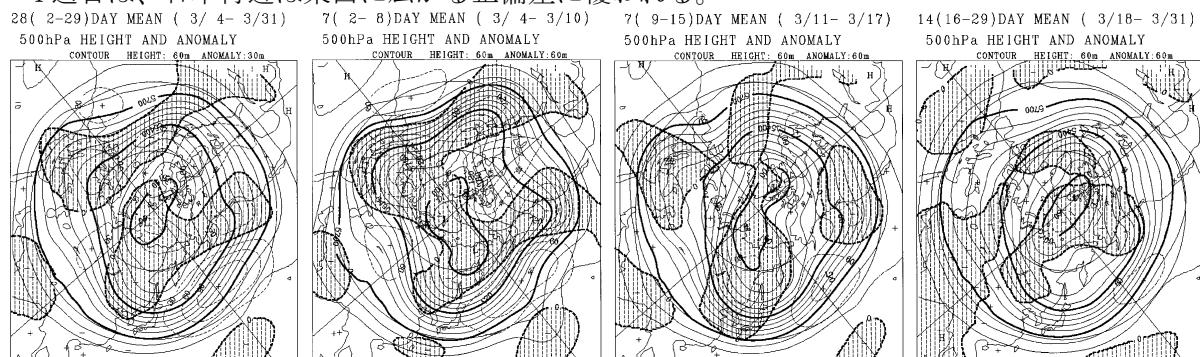


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は日付変更線付近に中心を持つ強い正偏差（暖気に対応）に覆われる。中国大陸東岸付近に負偏差（寒気に対応）が広がり、日本付近は西谷傾向。東北地方は高温傾向で低気圧の影響を受けやすい。

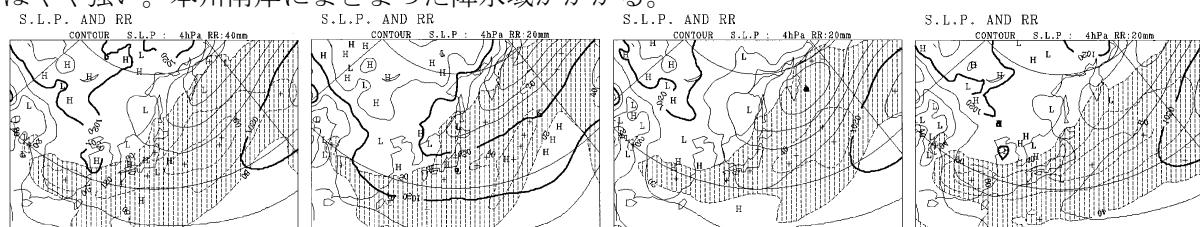
1週目は、月平均と同様に、日本付近は日付変更線付近に中心を持つ正偏差に覆われ、高温傾向。2週目は、日本付近は弱い負偏差に覆われるが日付変更線付近に中心を持つ正偏差は強い。3～4週目は、日本付近は東西に広がる正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、北太平洋中緯度で高圧部が強く、カムチャツカ半島付近の低圧部は弱い。日本の南海上を中心に降水域がかかる。

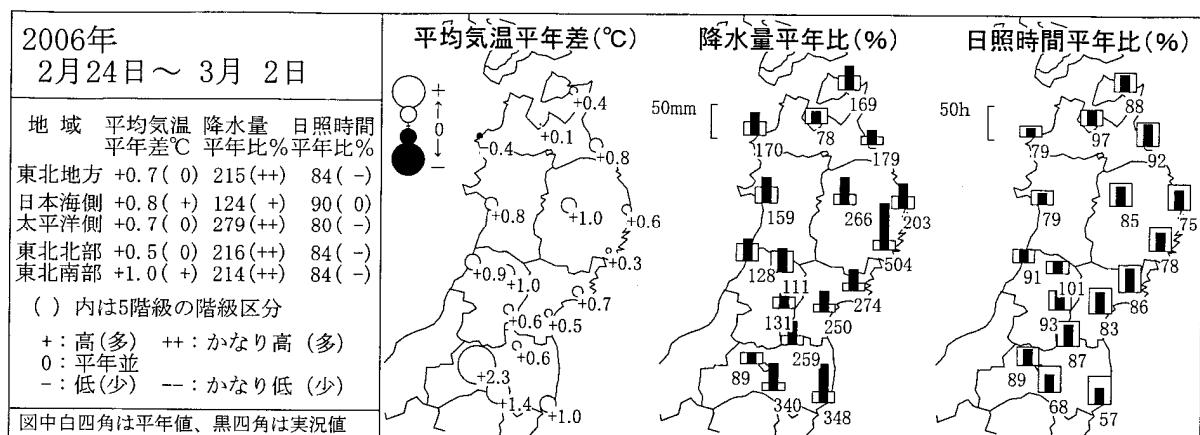
1週目は、高圧部が大陸から太平洋に続き、太平洋で高圧部が強い。日本付近は広く降水域がかかる。2週目は、カムチャツカ半島付近の低圧部は強く、大陸の高気圧は弱い。日本付近は低気圧の影響を受けやすい。3～4週目は、カムチャツカ半島付近の低圧部は弱いが、大陸の高気圧はやや強い。本州南岸にまとまった降水域がかかる。



4. 最近1週間（2月24日～3月2日）の天候の経過

この期間、低気圧や前線が数日の周期で通過し、通過後は一時冬型の気圧配置となった。天気は数日の周期で変化し、東北日本海側を中心に曇りや雨または雪の日が多くなった。3月1日は、本州の南岸沿いを低気圧が北東進し、三陸沖にぬけたため、まとまった雪や雨となり、東北太平洋側北部では大雪となった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）